

渾身の演奏と楽しいトークでお贈りする珠玉の名曲集！

及川浩治

ピアノ・リサイタル

KOJI OIKAWA Piano Recital

演奏曲目

ショパン：ノクターン第20番「遺作」

リスト：愛の夢

リスト：ラ・カンパネラ

ショパン：雨だれ

ショパン：バラード第1番

ベートーヴェン(リスト編曲)：交響曲第5番「運命」

尚、曲目・曲順は変更される場合がございます。

演奏の前に、スタインウェイ・ジャパン前会長、鈴木達也氏の
プレトークがございます。

2022.11.15 (火)

前売 一般 2500円 高校生以下 1000円

当日 一般 3000円 高校生以下 1500円 全席自由

※未就学児童の入場はできません。

託児所を設置いたしますので、問合せ先へご予約下さい。
(感染症の状況によっては託児所を設置できない場合があります。)

主催：鷹桜同窓会スタインウェイピアノ復活記念コンサート実行委員会

共催：長井市、長井市教育委員会

協賛：公益信託荘内銀行ふるさと創造基金

会場：長井市民文化会館

開場 17:30 開演 18:30

鈴木達也氏のプレトーク 18:10

チケットのお求め先

○長井市民文化会館
0238-84-6051

○音楽アズム館長井本店
0238-84-3111

○タスパークホテル
0238-88-1833

○八文字屋長井店
0238-83-1320

○Luichantant UMEMURA
0238-88-3877

○川のみなと長井観光案内所
0238-88-1831

今回皆様お届けするプログラムは、多くの人々に愛されているショパンとリストの珠玉の名曲集、そしてベートーヴェンの交響曲第5番『運命』です。

ピアノの詩人と呼ばれるショパンの世界は「天才」としか言いようがありません。そこには同時代の作曲家のみならず、彼の音楽に触れた者を一瞬にして虜にしてしまう魔力があります。

誰もショパンにはなり得ない独特な個性を持ち、それが聴くものをまるで別の世界へと誘うかのようなショパンの音楽は高貴な精神、極上の美、感動のドラマが変幻自在に展開されます。

そして私はいつもショパンに感謝するのです。

超絶技巧のピアニスト・作曲家としてロマン派音楽界の英雄的存在であるリストは、ベートーヴェンの9つの交響曲全てを1台のピアノ用に編曲しています。ベートーヴェンの孫弟子でもあるリストが尊敬の念と演奏効果の融合という偉業を成し遂げました。交響曲『運命』は、「人間はまじめに生きている限り、必ず不幸や苦しみ降りかかってくるものである。しかし、それを自分の運命として受け止め、辛抱強く我慢し、さらに積極的に力強くその運命と戦えば、いつかは必ず勝利するものである。」というベートーヴェンが残した言葉をまさに不屈の精神力で音楽として表現し、完璧な芸術作品として生み出した最高傑作です。

新型コロナウイルスとの戦いの日々が続いている今、私たちに感動を与えてくれるショパンとリスト、勇気を与えてくれるベートーヴェンの世界を是非皆さんと一緒に感じることを願っています。

及川 浩治



■ 及川 浩治 Koji Oikawa, Piano

1984年ヴィオッティ・ヴァルセイリア国際音楽コンクールで第1位受賞。1990年ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏賞 (Honourable mention)、マルサラ国際音楽コンクール第1位受賞。ショパン没後150周年の1999年「ショパンの旅」と題したコンサート・ツアーを行ない全国で3万5千人を動員。2008年～2011年には「10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストであり、ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は、幅広い層の共感を得ている。近年は海外オーケストラとの共演も多数。現在、宮城学院女子大学音楽科特任教授。CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出された。

オフィシャルサイト <https://koji-oikawa.com>

■ 鈴木 達也 (プレトーク) 前スタインウェイ・ジャパン株式会社社長



1938年東京生まれ。1962年慶応義塾大学経済学部卒業、同年日本楽器製造株式会社（現ヤマハ株式会社）入社。68年米国ロサンゼルス米国現地法人ヤマハ・インターナショナル・コーポレーションへ出向。78年同取締役副社長。84年帰国、ヤマハ株式会社秘書室長。87年（財）ヤマハ音楽振興会専務理事。89年ヤマハ株式会社取締役、米国本社ヤマハ・コーポレーション・オブ・アメリカへ出向、同代表取締役社長。92年帰国、ヤマハ株式会社顧問。97年スタインウェイ・ジャパン株式会社代表取締役社長。2008年より会長、相談役、スタインウェイ会会長、2010年よりスタインウェイ会最高顧問現在に至る。2012年サポートミュージック ソサイエティ理事長、2016年一般社団法人サポート ミュージック ソサイエティ理事長、現在に至る。学校法人上野学園監事、国際ピアノデュオ協会常任理事。

【長井高校のスタインウェイ】

現在長井高校音楽準備室に置かれているピアノは、その製造番号 217170 を手がかりに調べていただいたところ、1923(大正12)年7月11日、ドイツのハンブルクにある「スタインウェイ社」から日本に向けて出荷された何台かのピアノの一台であることがわかりました。今から99年前のことです。

現在、置賜総合支庁西庁舎が建っている場所にあった県立長井高等女学校に運ばれたこのピアノはその後、長井第二高校、長井北高校などと校名が変わる中で音楽教育や部活動に貢献し、1964(昭和39)年に今の長井高校に受け継がれました。

大都市にあった古いピアノのほとんどが戦災で失われた中で、小さな地方都市にあったこのピアノは、若者たちとともに歴史を刻み続けてきました。破損して、同窓会館の2階の踊り場に半ば放置され、ついには廃棄されようとしていたこのピアノでしたが、いったん「故郷」のドイツに運ばれ、一年余りかけて修復が施されて、奇跡的に2003(平成15)年に長井高校に戻ってきたのです。高価なピアノの購入にはおそらく、この地域の多くの先人たちの善意の結集があったはず。また、このピアノの修復にも多くの方々の無私な貢献がありました。長井高校のというよりは、この地域の宝物ともいえるべき「99歳のピアノ」の音色を、多くのみなさんに楽しんでいただけたらと願っています。

(鷹桜同窓会ピアノコンサート実行委員会)